

## 9月定例会

### 一般質問



9月6日～8日の3日間にわたり13名の議員から市政に対する一般質問が行われました。掲載の順番は質問順で、掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。

正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。

災害対策に繋がる記録検証の必要性・皿川の例



高橋春三議員

**問** 令和元年19号台風での10月13日皿川越水情報の市の認識と、市民に知らせた経過の詳細を伺います。

**答** 2時20分に左岸、30分に右岸越水を確認。3時20分北町、4時有尾、4時50分田町、6時40分福寿町他9地区に避難勧告を発令した。

**問** 避難勧告までに1時間から4時間20分経過している。経過の詳細を伺います。

**答** 他にも浸水発生、排水ポンプ車配備、排水ポンプ稼働状況を総合的に判断した。

**問** 水が流れ込んでいのに、より強いメッセージの避難指示を発令しなかったのか。

**答** 飯山観測所が10㎝を超えるのを目安としている。

**問** 市の最終報告第9報は事務的な報告・記録という印象です。反省点や良かった点に踏み込み、今後の対策に価値ある報告書は必要と思うが。

**答** 他市町村の内容を参考として、災害の教訓や記憶を風化させないためにも、記録集のようなものとしての作成を検討していきたい。

駅前ホテル・雪かき支援・蓮遊水地について



西澤一彦議員

**問** 駅前ホテル建設に向けた現在の状況は。

**答** ホテルは必要で市の分断を避けるうえでも双方一致していたが、先方が調停の場での解決を望んでおられ、できるだけ早い時期に解決できるよう努力してまいりたい。

**問** 双方一致を見出しホテル建設に進むべき時、司法の場での調停では、市民には決裂分断と映るが。

**答** 先ほど申し上げたとおりで、それ以外に申し上げることはない。

**問** 雪かき支援員はコーディネート業務を行う方向性とのことだが、除雪機4台購入計画との整合性は。

**答** 豪雪時の除雪支援を行うなどケースバイケースでの業務を想定。

**問** 蓮遊水地の現在の進捗状況は。市では、耕作希望者の意向調査や埋立ての意向を確認するアンケート調査を進めている。

**答** 遊水地は下流域のためと断腸の思いで決断した人もおり蓮遊水地以来の大事業だ。市も最大の支援をすべきと思うが市長の決意は。全責任を持つこの問題にしっかりと取り組んでまいりたい。

令和4年度決算の内容と将来予測



上松永林議員

**問** 4年度決算の内容は。

**答** 新たな学校づくり事業等の大型事業、コロナ禍での原油価格等物価高騰対策としての支援、雪かき支援事業の実証試験等に取り組みなどの今後の予算化に着手できた。

**問** 総務費は34億7千万円で3年度と比較し3億6千万円の減だが。

**答** 寄付の減少と基金積立て金の減額、人件費の減による。

**問** 商工費は17億8千万円の前年より4億円増、理由は。

**答** 道の駅拡張整備事業等。

**問** 前年と比べ法人市民税は2千9百万円減で1億4千3百万円、固定資産税は4千4百万円増で13億8千万円だがその分析は。

**答** エネルギー関連企業の法人市民税が減少。固定資産税は3年度の軽減措置が終了し増加したが、今後の変動は見込まれない。市内経済は物価高騰で厳しいと考える。

**問** 現在17億4千5百万円である財政調整基金の今後の見通しは。

**答** 4年度末の財政調整基金残高は概ね適正な規模。今後も同程度確保していきたい。

追加接種、学校給食有機化、貸し切り列車



松本淳一議員

**問** 国の予防接種健康被害救済制度による審査会の結果を比べてみると、コロナワクチンの死亡認定数のほうが桁外れにインフルエンザより多いと私は数えたがどう考えてよいか。

**答** 厚生労働省ホームページに認定審査結果が掲載されており、認定件数には大きな開きがあることがうかがえる。

**問** 新しいワクチンには人による試験はされているか。

**答** 厚生労働省は、今回のワクチンは改良型のため臨床試験はしていない、としている。

**問** 何回も接種すると免疫力が弱くなると言われているが。

**答** 厚生労働省の調査結果を確認いただければと思う。

**問** 子どもの接種券は希望者のみに配布できないか。

**答** 現時点では予定どおりの配布をしていく。

**問** 学校給食で米の有機化はできないか。

**答** 課題はある。市外から調達するなどした場合には可能。活性化に支援を期待できるか。

**問** 貸し切り列車で飯山線の活性化に支援を期待できるか。

**答** 要望には協力体制の構築や支援策が必要と考えている。

除雪支援事業・子育て支援事業・防災について



高橋達幸議員

**問** 令和4年度雪かき支援事業実証試験総括より今後の方向性は。

**答** 雪かき支援は、民間事業者やシルバー人材センター、除雪支援隊にお願いし、5年度の雪かき支援員は、主にコーディネート役とする。

**問** 出産給付金の市単独での20万円、小中学校の給食費においても4割を賄っているが、完全無償化はどうなったのか。

**答** 小型除雪機購入時の補助金制度等を立ち上げるよりも、地域の未来を見据え、子育て支援を、もっと腰を据えて、しっかり考えるべきではないか。

**問** 子育て支援に的を絞ってやれという議会としての総意であれば、全力を尽くして、それを実現していきたい。

**問** 古牧橋、大関橋、柏尾橋の交差点付近は堤防の高さよりも低く、大水で堤防を越水する前にそこから内地へと水が入り大災害が発生しかねないが防災対策は。

**答** 大型土嚢設置し、設置方法については、建設業協会と確認し、有事に備えている。

危機管理と地域おこし協力隊、地域医療を問う



山崎武雄議員

**問** 台風19号を教訓とした災害記録誌の作成についてお尋ねする。

**答** 災害の教訓や記憶を風化させないためにも、記録集のようなものを検討する。

**問** 地域おこし協力隊の民間事業者への委託型の推進と予算についてお尋ねする。

**答** 委託型を導入するために、この9月議会です算の組み替えを計上させていただいた。

**問** 飯山赤十字病院は地域医療を維持するためにさらなる支援を求めている。どのように考えているか。

**答** 新型コロナウイルス関連で補助金収入があり、年間収入は黒字に転じているが、累積の債務は残っており、まだまだ厳しい状況である。ようやく建設費償還金の補助については来年度で終了となる。今後は病院側と現状認識の共有に努め、適切かつ効果的な支援となるよう検討を行い、さらに市民が安心できる地域医療につながる支援方法についても協議していきたいと考えている。

市政運営について



山崎一郎議員

**問** 市長は昨年選挙の集会で「市長与党などと言う人がいるけれどんでもない間違いで、議員は全員野党であって、市長に対し監視をし、不足があれば条例案を出し、予算に修正を求め、納得出来なければ反対するのが議員の務めなんです」と発言されていたが、市政運営の立場になられた今の受け止めを聞きたい。

**答** 議会と首長というものは二元代表制であると言う理解を申し上げたものです。

**問** 6月議会の委員会審査において、危機管理監設置議案を否決した日、市長は「多数決は民主主義の基本かと思っただが、最近の多数決は民主主義の破壊者に成り下がったように、多数決なら何をしてもいいと考えている輩が跋扈するのは許せない」と自身のツイッターで発信されたが、飯山市議会の事ではないとは思いますが、事例をお聞きしたい。

**答** 事例と言うことでなく国の内外を問わず数で直ぐ決まってしまう傾向が強く、議論を重ねることが疎かにされている事を危惧したものだ。

令和4年度決算と政治姿勢について



小林喜美治議員

**問** 令和4年度の決算内容について約8億9千万円の黒字とされ、財政の健全の方向であると報告された。決算内容の特徴と評価について伺う。

**答** 令和4年度はふるさと寄付金が前年度から3億円の減。地方交付税や土地売り払いに伴う財産収入、公債費の増に伴う基金からの繰り入れが増となっている。歳入・歳入ともに前年度並みの決算となった。

**問** 岸田政権と東京電力は8月24日、福島第一原発事故で発生した処理水の海洋放出を強行した。東京電力は関係者の理解なしにいかなる処分もしないとする約束を反故にした。大きな怒りが広がるなか、この問題をどのように認識しているのか、市長の見解を伺う。

**答** 関係者の理解なしに処分しないことが守られていないことは大変遺憾だ。検査もトリチウムだけの指摘もあり、国民に不安を与えるものと思う。海洋投棄は速やかに一旦停止して理解を得てからやらなければならぬと考えている。

## 一般質問

防災関係、有機給食、認知症の支援について



常田徳子議員

問 屋外防災スピーカーが聞こえない地域があるが、どのように対応をするのか。

答 市内全般に行き渡る屋外スピーカーの整備には相応の費用が伴うため現実的ではない。情報がしっかりと伝わるよう手段を研究する。

問 防災対策に関する費用を危機管理監の採用ではなく情報システム機器にかけては。

答 危機管理監を設置し危機管理体制を強化していくことを基本に考えている。

問 有機給食を勧めるにあたり、有機米を作る農家や法人を増やし保育園や学校給食に有機米を導入してはどうか。

答 有機農業の推進を図り教育委員会とも連携し有機米の導入について検討を進めたい。

問 認知症の人が地域で安心して暮らせるまちづくりのために条例を作ってはどうか。

答 国は、認知症基本法を策定したので、国が示す計画を参考に市の推進計画策定に取り組みたい。認知症の方が、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう推進していく。

市長公約について



吉越利明議員

問 若者のライフスタイルが変化しているなか、若者や子育てに関しての意見を幅広く聞き市政運営に繋げる事が重要である。スマホを活用し意見の集約を進めたらどうか。

答 以前も提案いただいたている。引き続き検討を進めたい。

◆市民の安心安全まぢづくり  
問 当初予算で多くの予算を付けた地域おこし協力隊について現在の予算執行率は。

答 8月末現在7.8割である。

問 公約ありきで計画性が無かった結果だと思つて見解は。

答 これから伸びていくし、伸ばしていきたいかなければならないと思つている。

問 犯罪被害者等支援条例の制定については企業や個人の責務という事が含まれている事から、他市でも行つていようパブリックコメントを実施すべきと感ずるが考えは。

答 他市のように職員体制が充実していれば進められるが、少ない陣容の中で行っていくには先例や他市の状況などをお聞きし総合的に判断して、パブリックコメントの手続きは省略した。

農地集約・小型除雪機・調停弁護士について



佐藤正夫議員

問 前から提案している市農業をリードする組織が必要だ。

答 その必要性や取り巻く課題は理解している。食糧農業・農村基本法の見直し案が国会に提出される頃を目途に考えをまとめて提案したい。

問 農地を集約するため、一筆調査を進める必要がある。

答 一筆調査も必要だが、農地集約には境界杭の埋設型を試験しており様子を見たい。

問 除雪機は、ほぼ行き渡つている。買い替えの補助となると、買い替えられる高所得者や富裕層への補助になり公平ではない。それより燃料等に補助したほうが良い。

答 除雪機の補助で行きたい。

問 駅前ホテル側からの調停について契約中の顧問弁護士を排除して、なぜ他の弁護士を代理人として使うのか。市の顧問弁護士を必要としなくて、その都度別な人を頼めばよいのなら、市の顧問弁護士は必要ないと言ふことか。

答 私にとっては、今度お願ひする代理人弁護士のほうが顧問弁護士よりも、より適切だと判断したからお願ひした。

新統合小学校の校舎建設工期延長と教育の保障



荻原章一議員

問 新校舎完成後に統合が本来のあり方。1学期は4校で学び、2学期から新校舎で統合はどうしても不可能か。

答 新校舎完成は令和7年7月15日だが、教職員の配置は県教委が年度当初に行う。年度途中に統合では、配置した教職員が余つてしまう。

問 1学期は仮校舎となる戸狩小学校校舎に261名の児童が集まる。数字上は収まるが、現在のようなゆとりある教育が保障できるのか。統合を1年延期するやり方が最善の教育保障。新たな負担を教育現場にかけるべきではない。

答 必要最低限の教室は特別支援学級も含めて確保できる。エアコンやICT機器も含め要望に応じて可能な限り対応していきたい。

問 統合に当たり、教職員配置の充実が教育の質の確保に直結する問題。市単独の教職員配置が求められる。市長の見解は。

答 教育委員会が判断した教育内容に関して、財政面であらゆる工夫努力をし、その実現に努力するのが私の責務。

絵本で育てるまぢづくり、雪かき支援について



高澤富士子議員

問 図書館でも同様の事業は行ってきているが、新規事業として絵本でのまぢづくり事業を行う意図は何か。

答 ちょうどいける1万冊を超える貴重な絵本を活用して何か子どもたち始め住民が心豊かになれる取り組みをできたらと思う。

問 寄贈者の人脈や造詣を活用したいという市長の考えと、今後立ち上げる検討委員会等での協議で事業を進めるといふ副市長の考えとは相違があると思つていいか。

答 絵本を寄贈いただけるのは千載一遇のチャンス、また寄贈者は高齢のため少しでも早くそのエネルギーや人のつながりを地域に生かしていきたい。

◆雪かき支援事業について  
問 除雪依頼者と業者とのコーディネートをした雪かき支援員の業務は、実証試験での仕事内容と大きく異なるがどのような認識か。

答 支援員だけの除雪は厳しいとの結果を踏まえた。事業の目的は変わっていない。検証結果を参考に事業の手法を変更した。

## 一般質問

### ◎北信地域議会議員研修会



9月29日北信地域6市町村（中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村）の議会議員の研修会が中野市のアップルシティーなかのにおいて開催され、当市からは全議員が出席しました。  
北信地域振興局長の小池広益氏から「長野県総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン3.0』について」講演をいただきました。

### ◎特別委員会から

「議会課題等検討特別委員会」「市有資産調査検討特別委員会」の協議・検討状況

#### ◇議会課題等検討特別委員会

- ①議会のICT化
- ・市のDX推進マネージャーから市のDXの取組状況等の説明を受け、議会のDXについて協議
- ・議会内情報連絡用ツールやタブレットの導入についての協議、検討
- ②議員の活動等における課題
- ・一般質問等における課題の検討

#### ◇市有資産調査検討特別委員会

- ・通年議会の検討
- ・その他の課題の洗い出し
- ①市有資産の活用
- ・市有資産の状況調査及び担当課からの説明
- ②空き校舎の利活用
- ・市内施設の事例調査及び先進地視察の検討
- 2つの委員会ではそれぞれの課題について引き続き検討していきます。

### 管内視察報告

9月15日に全議員で次の施設の視察を行いました。

#### ●中学校給食センター

城南・城北中学校の給食を調理している中学校給食センターは、城南中学校南側にあり、施設の概要や作業の様子について窓越しに説明を受けました。また、当日の給食を全議員で試食しました。



見学窓から調理の様子を見させていただく

#### ●笹本文庫

城南中学校図書室の隣に設置されている笹本文庫には、県立歴史館特別館長の笹本正治氏から寄贈いただいた専門書等が収蔵されています。この笹本文庫は市民の皆さまも利用いただけますので、ご希望される方は図書館にお問い合わせをお願いします。



専門書等が収蔵されている笹本文庫

#### ●飯山城址公園

飯山城址整備事業で完成した交流展示館の展示設備や防災ベンチ設置工事について説明をうけました。防災ベンチは災害時等には煮炊きが出来る設備として使用できるとのことでした。

#### ●城山雨水排水ポンプ場

改修となった施設内で、大雨の際の市街地の内水排除システムや、施設の概要等について説明を受けました。浸水対策も完了しており、災害への安心安全について確認ができました。



改修となった城山雨水排水ポンプ場

#### ●図書館・美術館・ふるさと館

三館ともに、普段見ることのできない収蔵スペースを中心に説明を受けました。今回寄贈のあった絵本等3000冊も図書館に置かれていた状況を確認しました。

#### ●道の駅アクティビティ拠点施設

11月1日グラウンドオープンとなるこの施設は、最後の仕上げが行われています。また、Eバイクの試乗も行いました。